

し え ん
4月 支援センターNews

れいわ ねん がつ
令和3年4月

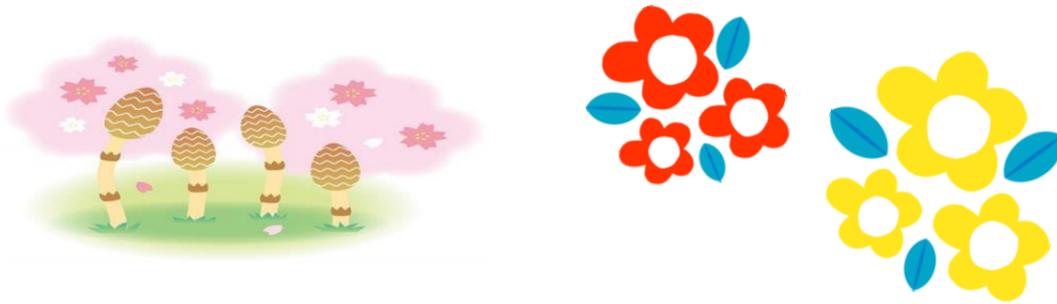
おとくに えんちいきせいかつしえん せん たー
 乙訓ひまわり園地域生活支援センター
 発行日 れいわ ねん 令和3年4月25日
 へんしゅう よしだきょうこ きたいりょうた かわきたふうこ
 編集：吉田恭子、北井亮汰、川北楓子

新緑のさわやかな季節になりました。皆様におかれましては健やかに過ごしのことと存じます。新型コロナウイルス感染症の影響が続いていますが、予防や対策に気を緩めることなく、検温、手洗い、換気、消毒等を実施していきます。一日も早い収束を願います。今年度は下記の体制で運営してまいります。若葉のように新鮮な気持ちで、初心を忘れずに進んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたひます。(吉田 恭子)

れいわ ねん どしよくいんしやうかい
令和3年度職員紹介



かわはら えり 黒島 明子
 (センター長) (事務)



<グループホーム事業>

・ジョイフル山ノ下

・ジョイフル神足

・ジョイフル東ノ口



うちだ よしひこ 中村 陽子 三宅 智広 近藤 幹生 片山 愛 吉澤 久子 水谷 友依 川北 楓子 木村 静瑠
 (主任) (主任)

<短期入所事業・サポートステーション事業>

・サポートステーション事業



おかもと たかこ 八木 達也 吉田 恭子 大久保 康成 山本 直美
 (主任)

<短期入所事業>



たかつ だいすけ 北井 亮汰 田中 秀樹 谷口 頌 小林 恵子 余頃 兵馬 山本 真也
 (主任)



しんしよくいん いどうしよくいんしやうかい
<新職員、異動職員紹介>



この4月から第2乙訓ひまわり園と兼務になりました高津大輔です。兼務ということで戸惑うこともありますが、精一杯がんばっていきたく思ひますので、どうかよろしくお願ひいたします。

今年度から、支援センター(兼第3ひまわり園)配属になりました、大久保康成と申します。支援センターにはひまわり園に入った直後から5年程居りましたので、異動というよりも戻ってきたという感じが強いような気がしますが、新しいメンバーさんもたくさんおられますので、新たな気持ちで支援にあたりたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。



4月よりデイセンターと兼務になりました谷口頌と申します。

他センターとの兼務は初めてになりますので、不安な気持ちもありますが、一つひとつ学びながら積み上げていければと思ひます。よろしくお願ひ致します。



昨年7月20日よりサポーターとして、地域生活支援センターで仕事をさせていただいてひます。余頃兵馬です。過去いろいろな職種につきまひました。今年4月1日より職員として新たに皆様の一員として頑張っていきたいと思ひます、今後とも皆様のご指導宜しくお願ひ致します。



接客や物を作る仕事をしてひた事もあり人と接する仕事が好きで今年の2月から地域生活支援センターで職員として仕事に就かせてもらひてひます、山本真也です。生活支援の仕事は初めてで新しく体験して覚える事ばかりですが頑張って挑戦していきたく思ひますので皆様宜しくお願ひ致します。



(たんきにゅうしょ)
【短期入所】

支援センターでは、引き続きコロナ対策の
為、検温、来園時の手消毒、うがい、空気清浄器
や窓を開けての換気、室温、気温確認を継続さ
せていただいています。食事の場面では密集
を避ける為、時間をずらしての提供を行って
います。対策を継続し、安心安全に過ごしてい
ただける環境整備を行ってまいります。

短期入所のご利用の際は**障害福祉サービス
受給者証**、日中一時のご利用時には**地域生活
支援事業受給者**をお持ちください。また
両受給者証が更新された際、コピーを頂いま
すのでご理解の程よろしくお願ひ致します。
(北井 亮汰)

社会福祉法人 向陵会
基本理念「共生」

すべての利用者とその家族が
地域の中でいきいきと
生活することを願ひ、
地域とともに「共生」を目指します。

【サポートステーション】

サポートステーションではガイドヘルプ、
ホームヘルプ等の支援を主に担っております。
コロナウイルス対応により引き続き、京都府内の
みの外出にさせて頂いておりますが、利用される方
が楽しめるような所への外出を続けていきたいと
思っています。

最近も電車が好きな方と外出した際に新幹線を見に行きました。偶々ですが、珍しい新幹線が停車しており、じっと見ておられました。制限された状況下ではありますが、出来る限り楽しんで頂ければと思います。

ぜひ支援に関して迷っておられましたら、ご相談ください。
(八木 達也)

【お知らせ】ひまわり園設立当初から活躍されて
いました
入江貞千代ヘルパーですが3月末をもって勇退されました。



ドクターイエローを見ることが出来ました！！

【グループホーム】

4月から Joyful 神足に新たな入居者が加わり、新たな担当職員も加わって、グループホーム事業の体制強化と、支援の拡充を図っています。新規ホームの立ち上げも含め、住み慣れた地域でいきいきと暮らすための場所づくりに、引き続き取り組んでいきます。

グループホーム事業の事務所は、地域生活支援センターとは別に、Joyful 東ノ口に設置しております。ホーム関係のご連絡やご相談は、Joyful 東ノ口(電話932-7108)までお願いいたします。(内田 圭彦)



編集後記

令和3年度が始まりました。コロナ禍により不自由ではありますが、今年早くから桜が咲き始めそれを追うようにツツジや藤、チューリップと沢山の花々が咲き新しい生活を応援してくれているようです。支援センターでは新たなスタッフを迎えますます個性豊かなチームとなっております。最近では「ダイバーシティ」が注目されているとのこと。カタカナが苦手な私は何度聞いてもなぜかガンダムが頭に浮かんでしまいます。ダイバーシティとは日本語では「多様性」とのことだそう、性別や国籍、民族、年齢、状態や家族構成などについて、様々な背景や属性を持つ人々が組織や地域で対等に活動し、住み、意思決定に参加することを指すそうです。多様性を当たり前のことと考え、「相手に伝えたいことを言葉にしてコミュニケーションをとり相手を理解する」「自分にとって当たり前で相手にとって当たり前でない事柄が何なのかを認識し、互いに違いを受け止める。」そのことにより組織で個人が活かされる職場となり、利用者の方の地域生活を支えていけたらと考えています。小さなことからコツコツと。今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

センター長 河原 絵理

